

## 岡部中央グラウンドの整備 拡充について

宇多村春恵



岡部中央グラウンド

**問** 市民体育祭の開催場所であり地区住民のスポーツの拠点として総合公園を望む。また深丘園改築に伴い地元住民の長年の強い願いである。

末日に提出されています。グラウンドの件も出されています。要望事項を各担当部へ下して精査検討して市としての方向性を決定して議会並びに要望者へお知らせします。

**エコ活動、環境のために私にもできることがある**

**問** 市が推進していることは、

**答** ISO14001の中でエコオフィスにより電気、コピー使用量削減、ゴミ排出量、公用車燃料削減、明戸中他7校で生ゴミ処理機で給食残渣の堆肥化、深谷公民館で太陽光発電の新エネルギーによる一部使用量を賄っております。

**問** 自分でできることから始めようというスローガンで市民ぐるみの展開を。

**答** 市民参加で年2回ゴミゼロ運動を実施、資源リサイクル活動、エコライフデーを実施し市民に環境啓発を引き続き行っていく予定です。子供達は理解しているが大人が分かっていない方が多いと思います。

## 深谷市インターンシップ制度 について

柴崎重雄

**問** 若者が、就業体験を通して将来の職業意識や、就労態度の向上を図れる機会としての、深谷市インターンシップ推進事業が、今年4回目となった。その内容と今後の問題点を聞きたい。

**答** 合併後、初年度となる今年度は、平成18年7月21日から8月18日の間、市内6高校の1・2年生の58名が市内22企業・団体において就業を体験しました。今後の問題としては受け入れ事業所減少があり、新たな受け入れ先の開拓や効果的な事業内容の見直しについて要請してまいります。

**児童・生徒の保護者が支払うべき諸費用の滞納について**

**問** 公の子育て支援、手当の増強が促進されつつある中、小・中学校の生徒の諸費用で未払いや滞納があるという話を聞き、実際に何校か調査したところ事実であることが判明した。特に、子どもたちの健全な体づくりに非常に重要



である給食費に関して、市の把握している状況とその対応策について聞きたい。

**答** 平成17年度、学校給食費の未収額は293万8927円(0.5%)、197人となっており、滞納の原因には生活の困窮のほかは無責任な姿勢が問われる実態もあり対応に苦慮しております。管理は学校ごとに任せられ、さまざまな場をとらえて速やかな督促を行い、徴収に努めております。安定した給食を提供するためには、学校給食費の確保が極めて重要であり、関係各位のご協力をお願いいたします。

## 公正・公平・公開を原則とする市政運営と行政の説明責任を問う

田嶋 均

**問** 3月議会で花園幼稚園児送迎バスについては、1年間の調査・検討後に決定するとの答弁があったが、5か月後の8月31日付け事務報告で「19年度継続」の書面が議員に配付された。決定理由は調査・検討を一切必要としないものであるが、この既得権益を継続させる決定はどのようなされたのか。

**答** 教育次長以下9名の担当職員の会議で決定しました。理由は報告書記載のとおりで送迎バスの現状(昭和44年から実施し、園児の利用率65%)及び19年度委託会社がバスを購入して5年目に当たる。

**問** これらの事実は、1市3町の調整方針を策定する時点で担当部局は当然把握し、18年度で送迎バス廃止の方針を決定したのではないのか。地元

## 『日本大学』進出の現状 について問う

武井敏男

**問** 新市の将来都市像として、新井市長は、かねてより教育立市・学園都市を目指したまちづくりの一環として、大学誘致に取り組んできた。今般、医療法人社団大坪会と定員400人、4年制看護福祉系大学開校で基本合意となった。

**答** 教育長も了解しています。お役所仕事としては結果報告で充分だと思っっているかもしれないが、花園地区以外の関係者や住民が納得する説明責任を果たすつもりはないか。少なくとも公正・公平・公開の理念に沿った行政運営として必要なことではないか。

**問** 合併は難しく、常に知と情の部分とありますが、情報の部分として平成19年度は、園児送迎バスの運行を行わなければならないと考えています。

**答** 合併は難しく、常に知と情の部分とありますが、情報の部分として平成19年度は、園児送迎バスの運行を行わなければならないと考えています。



**答** ①大学建設にあたり、市の補助金は10億円以下の予定です。市有地は貸借・譲渡等12月議会までには決定していきます。費用対効果の詳細算出もその後となります。②日本大学の誘致を推進します。スマートインターについて、寄居町、美里町と歩調を

合わせ、協議してまいります。

## 『深丘園』建設について

**問** 深丘園建設は住民生活上密接にかかわる必要不可欠な重要な施設である。反面、迷惑施設でもあり、地元住民の声を反映することも重要。①地元の意見や反応は。また、民間葬儀場関係者の反応は。②施設用地拡大の考え方は。



深丘園

**答** ①現在取りまとめ中ですが、現在の計画は変更しないです。②施設用地拡大の考え方は、現在の計画では、用地拡張は考えていません。

## 敬老会の内容方式の見直し

大澤ミツ子

**問** 敬老会の招待状と一緒に鍼灸マッサージサービス等の無料利用券が配付された。そこで市指定の一覧表を見ると川本・花園地区には指定がない。

**答** 高齢者の中から施設所があるのに指定しない理由は、また、指定以外の施設所での利用はできないか等の声がある。



敬老会

**問** 敬老を趣旨として高齢者の健康増進と福祉向上を図る目的で実施している事業です。指定については、社団法人埼玉県鍼灸マッサージ指圧師会深谷支部と、覚書を取り交わし実施しています。指定の施設所はその会員であり、その多くは視覚障害者の方が加入しています。

**答** この事業は、そうした方への就業の機会拡大と合わせ生活支援も事業の目的となっております。

なお、障害がなくてもこの事業の趣旨を理解いただいた方であれば、市でこの会の会長の方へ入会希望者として幹

**問** 合併後、初の敬老会、今年度の結果を検討のうえ見直す考えは。(送迎等も含む。)

**答** 今年度は旧深谷市の実施方法で調整したところです。旧深谷市では送迎等のお年寄りの世話は地域という風潮がありまして、旧3町でも今後、地域の方の協力をお願いできればと考えています。

合併調整の結果を踏まえながら今後も深谷市の実施方法で継続実施をしていきたいと考えています。